

CONTENTS

大変だ！シロクマくんが
困っている 3

気候危機だ！アザラシさんが
生きていけない！ 4

I 知識編

1. 地球は暑くなっている！
これまでの気温はどうなってるの？ 4
これから気温はどうなるの？ 6
大阪はより暑くなっている 7
このまま温暖化が進むとどんな影響が生じるの？ 8
2. 温暖化による影響に上手に対応する
～「適応」ってなに？～ 10
3. 「適応」を進める国内外の動き 11
4. 大阪府における気候変動の影響と適応策
～大阪府における「適応」の7分野～ 12
① 農業、森林・林業、水産業 ② 水環境
③ 自然生態系 ④ 自然災害・沿岸域 ⑤ 健康
⑥ 産業・経済活動 ⑦ 府民生活・都市生活

コラム① 「適応」についての Q&A 19

II 実践編

1. 暮らしの中での「適応」 20
 2. 地域での取組み 22
 3. 世界で行われている「適応」 23
- コラム② シロクマくん(ホッキョクグマ)の「適応」 24
- 参考資料
1. 今後の気候変動予測 25
 2. 緩和策と適応策の関係 26
 3. 日本の温暖化「適応」の取組み 27
 4. 大阪府地球温暖化対策実行計画(適応計画) 28
 5. おおさか気候変動適応センター 30
 6. 「温暖化」「適応」について
さらに知りたい方は 31

大変だ！シロクマくんが 困っている



今、ぼくたちシロクマ(ホッキョクグマ)にとって大変なことが起こっている。

それは、春に氷が早く溶けだす、秋の凍結がおそい、そのうえ、氷の厚さが薄くなっている...こと。

ぼくたちは北極圏の氷原を移動して狩りをするんだ。獲物が豊富な春に、たくさん食べて脂肪を蓄え、獲物が少ない季節も生き延びられるように。

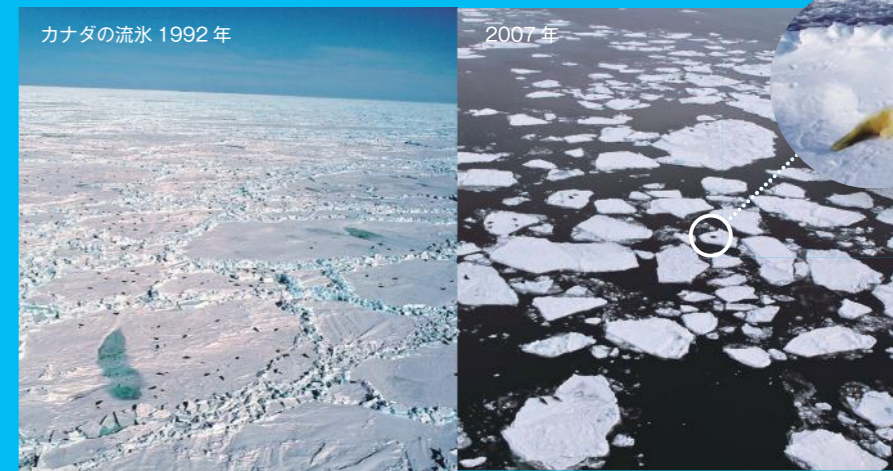
でも、氷が少なくなると、狩りの期間が短くなり、脂肪を十分蓄えられない。体力が落ちてしまうし、生まれた子グマの生存率も下がってしまうんだ。

どうやら地球が暖かくなっていることが原因らしいぞ!?



気候危機だ！アザラシさんが 生きていけない！

動物写真家の小原 玲さんは、30年にわたって、アザラシの赤ちゃんを撮り続けています。1990年代には広大な流氷の上でアザラシが子育てをしていました。ゴマのように散らばっている黒い点は全てアザラシです。ところが、2007年には様子が一変しています。地球温暖化の影響で流氷がとて小さくなり、数も減っています。多くのアザラシの赤ちゃんは、海の荒波に飲み込まれたのではないかと考えられています。



写真：小原 玲氏提供

シロクマやアザラシだけが大変なわけではありません。小さな微生物から大きな哺乳類まで生き物はつながりの関係があり(生態系)人間を含むすべての生き物に影響があります。

※ 写真の転載・流用などはいけません